

令和6年度 第2回 高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 議事概要

1. 日 時：令和7年2月21日（金） 13：30～14：30
2. 場 所：益田市立市民学習センター 研修室 104（Web会議併用）
3. 議 事
 - （1）開会
 - （2）令和6年度の実施状況について
 - （3）今後のスケジュールについて
 - （4）その他
 - （5）意見交換
 - （6）閉会

4. 議事結果

令和3年5月に改定した高津川流域の減災に係る取組方針（第2回改定）に基づいて実施した、令和6年度における減災に係る取組みの実施状況について共有した。また、令和7年度第1回高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会の開催時期及び議事内容等を周知した。さらに、令和7年度に現行の取組方針が完了するため、令和7年度中に未実施の取組項目について、個別又は関係機関で連携して実施することを依頼した。

なお、令和7年度に次期5か年の取組方針（案）を作成し、令和7年度第2回高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会に諮り承認を得る予定である。

1) 令和6年度の実施状況について

令和6年度の減災に係る取組みの実施状況について共有した。

事務局（浜田河川国道事務所）からは、下記に示す17の取組みについて概要を説明した。

○事務局（浜田河川国道事務所）の取組み

- ・マイ・タイムラインの普及促進の講習会の開催
- ・小学校等を対象とした防災教育の普及
- ・民間企業における事業継続計画検討支援
- ・避難行動・水防活動に資する基盤等の整備
- ・定住外国人を対象とした防災講演会の開催
- ・まるごとまちごとハザードマップの取組支援
- ・Xを活用した災害情報等の発信・収集
- ・住民を対象とした防災出前講座の開催
- ・流域治水等の周知に向けた取り組み
- ・水害被害の伝承に向けた取り組み

- ・「高津川だより」による広報
- ・樋門無動力化の推進
- ・重要水防箇所の合同確認
- ・堤防点検の実施
- ・樋門操作説明会の開催
- ・災害対策用機械の操作訓練
- ・自然災害伝承碑を活用した取組の推進

また、以下に示す関係機関の取組みを共有した。

○松江地方気象台の取組み

- ・府県単位での「線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ」の運用開始
- ・地域防災支援の取組（あなたの町の予報官、気象防災ワークショップ、JETT、振り返り）
- ・外国人向け出前講座の実施予定
- ・報道機関との懇談会の開催
- ・防災知識に関する普及啓発番組の作成（お天気スクエア）

○島根県の取組み

- ・考える県政、チラシ、展示による防災情報の広報
- ・地域防災力向上のための人材育成（避難行動要支援者、自主防災組織、防災士）

○益田市の取組み

- ・島根県総合防災訓練、出前講座、高台を活用した避難訓練の実施

さらに、令和7年度が現行の取組方針の最終年度にあたることから、現時点で未実施の取組項目について、個別又は関係機関で連携して実施することを事務局より依頼した。

2) 今後のスケジュールについて

事務局から令和7年度第1回高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会の開催時期及び議事内容について周知・共有を行った。

3) その他

令和8年度からの5か年計画で取り組む高津川流域の減災に係る取組方針について、改定までの概略スケジュールを周知した。取組方針は、令和7年度第2回の同協議会に諮り、承認を得る予定であること、取組方針の策定に向けて、今後、関係機関の担当者へ現状や課題等の確認、取りまとめへの協力依頼を行った。

4) 意見交換

益田市長（質問）

今年度の取組として、定住外国人を対象とした防災出前講座を開催されていたが、これからは外国人が増えることが想定されることから、このような取組は重要であるとする。そこで、出前講座での受講者の反応や主催者側から感じた課題等があれば教えていただきたい。

事務局（回答）

出前講座では、土地勘がない外国人のため、過去の高津川での水害写真を用いて益田市でも水害のおそれがあることを説明した。また、日本語に不慣れな方もおられるので、平易な日本語を用いて資料を作成した。受講者の反応としては、平易な日本語を使い資料を作成し、“ふりかな”を振ったこともあり、受講者から意味が伝わらなかったという意見はなかった。

外国人を対象とした防災講座は2か年での実施を予定しており、今年度はマイ・タイムラインなど説明を行った。来年度は、今回の防災講座を踏まえて、実際にマイ・タイムラインを作成することやHUG訓練を行う予定としている。

以 上